

子どもも大人もどろんこ

こどもの広場がオープン



10月24日高洲地区に「こどもの広場」がオープンしました。

「こどもの広場」は、子どもたちが自由な発想で想像力を働かせ、冒険心を育み自立性や社会性を高める場所です。子どもたちが手作りで遊びや遊び場をつくることができるのが「こどもの広場」の魅力です。

開場時間中はいつでもプレイリーダーと呼ばれるスタッフが子どもと一緒に遊んだり、子どもの様子を見守ったりしています。

はっぴい発表会が30回目を迎えました

毎年11月に開催されているはっぴい発表会（特別支援学級合同学習発表会）は、市内小・中学校特別支援学級の児童生徒が日頃の学習の成果を発表・鑑賞することで、一人一人の力を伸ばすことを目指して開催しています。本年度、記念すべき30回目を迎えました。



11月14日(土)
第30回はっぴい
発表会の様子

9月26日 おめでとう はっぴい30のつどい

9月26日には「おめでとう はっぴい30のつどい」が開催され、子どもたちだけでなく、多くの保護者や地域の方々、そして卒業生が一堂に会して30周年をお祝いしました。

オープニングを飾る浦安ウインドアンサンブルによる演奏の後、元特別支援学級担任や卒業生、保護者の方々のお話を聞き、はっぴい発表会の歴史を振り返りました。多くの人々に支えられて30回目を迎えていることや、特別支援学級での学びが人生を豊かにしていることなどを知ることができました。元町、新町、中町ブロックごとの発表では、組体操やリズム遊び、群読を小中学生が合同で行いました。その後、子どもたち全員がステージに上がり、ドラムサークルの方々と一緒に気持ちを一つにして打楽器の即興演奏をしま

はっぴい30の歴史



越川なつきさん (卒業生)
進学した高等部では応援団長を務めました。社会人になっても、新しいことにチャレンジしていきたいです。



村上慧樹さん (卒業生)
中学3年の時には放課後残って練習し、友達二人で司会を務めました。高校生活もがんばっています。



佐々木真優さん (卒業生)
卒業後、現在は自分に合った仕事を探して働いています。大変なときもありますが頑張ってます。



武井克明さん (保護者)
楽しいと思うことを見つけましょう！はっぴい発表会が、そのきっかけになることを願っています。



土田正義先生
(美浜中教頭:元特別支援学級担任)
初めて文化会館での開催が決まった年は、生徒も先生も小ホールをいっぱいにして町中歩いて宣伝しました。



大野宏尚先生 (特別支援教育指導員)
子どもたちの成長を願う思いやこの発表会への熱い思いがしっかり受け継がれ、うれしく思います。



参加者の感想

- 特別支援教育のよさを、みんなでアピールしていきたいと思いました。
- 中学生が小学生の手をつなぎ優しく接する様子を見て、交流する大切さを感じました。

した。

この日は、特別支援教育に関わる多くの人たちのお祝いの思いが詰まった素晴らしい1日となりました。